

プレゼン力を磨く

医師として働くようになると、否応なくプレゼンをおこなう機会が多くなる。プレゼンでは内容もさることながら、伝える技術も重要となる。このセッションの目的はこの伝える技術を磨くことにある。幸い、このウィンターセミナーにはプレゼン自慢が集結しているのです。その方々のテクニック、経験を学んで今後の自分のプレゼンに活かすようにしていこう。

このセッションは、以下で構成されています。

総論：木山秀哉（東京慈恵会医科大学）

言わずと知れたプレゼンの鬼です。たいへん美しいスライドと、時折はさむウィットの効いた小ネタで聴衆を飽きさせません。まず木山先生にプレゼンに関する総論を概説していただきます。

続いて、プレゼンのいくつかの要素についてさらに詳しく見ていきます。演者は、みなそれぞれのスタイルを持っています。その極意のようなものを惜しみなく提供していただきます。

各論

- 1) 内容：讃岐美智義（広島大学）
- 2) 場面展開：内田 整（千葉こども病院）
- 3) テンポ：鈴木昭広（東京慈恵会医科大学）
- 4) アニメーション：坪川恒久（東京慈恵会医科大学）
- 5) Clicker を使おう：木山秀哉（東京慈恵会医科大学）
- 6) 話術：上園晶一（東京慈恵会医科大学）

私の所属する慈恵医大からの演者が多いことはお許しください。慈恵では、毎朝、何らかのプレゼンテーションがおこなわれ、その中で技術が磨かれていきます。その一端をお見せしたいというのも、このセッションの（隠された）意図になります。

続いて、プレゼン添削塾に移ります。本来はあらかじめいただいたプレゼンス

ライドをエキスパートで添削してどう変わるかという風にしたかったのですが、時間的制約などもあるため、その方式は次回に譲りまして、東邦大学の大岩先生にご発表いただき、そのプレゼンにコメントをするという形にしました。

最後のセッションでは、腕に覚えのある方々に、内容を限定せずに自慢のプレゼンをしていただくことにしました。総論、各論で扱われたテクニックが随所に出てくると思います。お楽しみください。